

事務事業名	緑地保全事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境共生部	みどり公園課	みどり推進係	玉田 結城

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		人と環境に優しい都市空間が広がるまち		
	施策分野		環境保全		
	めざす姿		緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる		
根拠法令	名 称	都市緑地法			
		森林法			
当該事業の法令等による義務付けの有無			有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和56年度				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費					(単位：千円)		
要綱に基づく保全緑地対象地区内の山林及びその所有者		6年度（決算額）		7年度（決算額）		8年度（予算額）		
	事業費	47,297		52,809		45,935		
	人件費	6,306		9,397		9,397		
	総事業費	53,603		62,206		55,332		
目 的								
保全緑地を管理することで、市民が緑と触れ合える場や生物の生息・生育場所の確保などを図り、緑地の保全や市街地の緑化推進につなげます。	8年度事業費（予算額）財源内訳							
		国支出金				0		
		県支出金				0		
		市債				0		
		その他				24,919		
		一般財源				21,016		
		合 計				45,935		
	3. 活動内容							
	活動指標 1	名称	保全緑地の賃貸借契約面積				単位	㎡
		内容説明	土地所有者と賃貸借契約をしている面積					
指標値			6年度	7年度（当該年度）	8年度			
		予 定	226,935	226,408	225,492			
		実 績	224,982	225,492	――			
成 果（効果・予測）								
・市民が緑と触れ合える場を確保できます。 ・生物の生息・生育場所を確保できます。	活動指標 2	名称	保全緑地内市有地面積				単位	㎡
		内容説明	保全緑地内の市有地面積（みどり基金買取分を含む）					
		指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度		
			予 定	80,143	81,964	81,964		
			実 績	81,964	81,964	――		
	活動指標 3	名称					単位	
		内容説明						
		指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度		
			予 定					
			実 績			――		
課 題								
・ナラ枯れの新たな被害は収束した状態にあるものの、被害を受けた樹木が多数あります。 ・スギやサワラなどの針葉樹が枯死するケースが多く見られます。	活動指標 4	名称					単位	
		内容説明						
		指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度		
			予 定					
			実 績			――		

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	II：見直しのうえで継続	7年度	I：現状のまま継続
	・森林環境譲与税を活用し、倒木の恐れがある樹木の伐採等をより一層進めていきますが、多数あることから、園路沿いや道路、民地の境界沿いなどを優先して行います。					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	5年度	6年度	7年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	緑の保全のために私有財産を賃貸借することから、市の関与が必要です。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	5年度	6年度	7年度	A：十分に成果を上げている。
	A	A	A	保全緑地の賃貸借契約をほぼ維持していることから、成果は十分に上げていると言えます。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	5年度	6年度	7年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	保全緑地の賃貸借料は1平方メートル当たり月額10円程度と比較的安価であり、概ね適正水準にあります。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	5年度	6年度	7年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	保全緑地は原則として市民が自由に利用できるものであり、受益・負担の公平性は保たれています。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	5年度	6年度	7年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	緑地の管理には多くの市民ボランティアが参加しています。また、緑地の確保は地球温暖化対策等の環境負担軽減に役立っています。

事務事業名	公園維持管理事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境共生部	みどり公園課	公園管理事務所	玉田 結城

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		人と環境に優しい都市空間が広がるまち		
	施策分野		都市環境整備		
	めざす姿		公園を快適に利用している		
根拠法令	名 称	都市公園法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和34年度				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象		総事業費				(単位：千円)		
市の管理する公園を利用する市民等			6年度（決算額）		7年度（決算額）		8年度（予算額）	
		事業費	398,693		389,324		442,241	
		人件費	24,608		31,325		33,734	
目 的		総事業費	423,301		420,649		475,975	
公園の適切なメンテナンスを行うことで、安心・安全な公園環境の確保を図り、快適な公園利用につなげます。		8年度事業費（予算額）財源内訳						
		国支出金		0				
		県支出金		0				
		市債		0				
		その他		14,712				
		一般財源		427,529				
		合 計		442,241				
手段、手法【実施手法：直営・委託】								
・民間への委託等により、適切に維持管理を行います。								
3. 活動内容								
活動指標 1	名称	公園施設の補修件数					単位	件
	内容説明	公園施設及び公園灯の補修発注件数						
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度			
		予 定	35	40	40			
		実 績	40	63	— — —			
成 果（効果・予測）								
・安全で快適に公園を利用できます。								
・市民が災害時に避難等するための空間を確保できます。								
活動指標 2	名称	樹木管理委託の件数					単位	件
	内容説明	公園樹木管理委託の発注件数						
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度			
		予 定	120	120	150			
		実 績	140	168	— — —			
活動指標 3	名称						単位	
	内容説明							
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度			
		予 定						
		実 績			— — —			
課 題								
・整備後20年以上が経過した都市公園が約8割を占め、施設の損傷や老朽化が進んでいることから、安全点検の充実、適切な部品交換及び修繕が必要です。								
・樹木の巨木化、老木化が進んでおり、植替え等の抜本的な対応が必要になってきています。								
活動指標 4	名称						単位	
	内容説明							
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度			
		予 定						
		実 績			— — —			

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続	7年度	I：現状のまま継続
	・民間等への委託により、維持管理作業・監視業務を行います。					
	・維持管理に必要な使用材料の安全性・耐久性等を十分考慮し、より経費の削減が図れるよう努めます。					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	5年度	6年度	7年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	公園管理者である市の関与が必要です。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	5年度	6年度	7年度	A：十分に成果を上げている。
	A	A	A	日常のパトロールや点検等を実施しているほか、遊具や施設の補修、草刈りや剪定等を適切に実施することで、市民が安心・安全に公園等を利用できる環境を確保しています。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	5年度	6年度	7年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	公園に関する多様な要望が寄せられておりますが、危険度を含めた優先順位を付け、人員・予算に応じた作業・対応を実施しています。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	5年度	6年度	7年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	市民の誰もが自由に利用できることを原則としています。一部、独占的に利用する際には使用料を受益者が負担しており、受益・負担の公平性が保たれています。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	5年度	6年度	7年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	公園設置にあたっては住民説明会を開催するなど情報提供に努め、市民要望やユニバーサルデザインに配慮した施設整備を行なっています。また、維持管理作業で発生した剪定枝等はウッドリサイクルにより環境負荷軽減に配慮するなど、持続可能な維持管理に努めています。

事務事業名	既設公園等大規模改修事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境共生部	みどり公園課	公園整備係	玉田 結城

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		人と環境に優しい都市空間が広がるまち	
	施策分野		都市環境整備	
	めざす姿		公園を快適に利用している	
根拠法令	名 称	都市公園法		
		高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
	昭和50年度			
				設定無し

2. 事務事業の概要							
対 象		総事業費 (単位：千円)					
市民			6年度（決算額）		7年度（決算額）	8年度（予算額）	
		事業費	114, 037		110, 671	72, 365	
		人件費	22, 113		24, 088	12, 440	
目 的		総事業費	136, 150		134, 759	84, 805	
公園の適切なメンテナンスや計画的な補修・更新を行うことで、安心・安全な公園環境の確保を図り、快適な公園利用につなげます。		8年度事業費（予算額）財源内訳					
		国支出金		0			
		県支出金		0			
		市債		63, 100			
		その他		0			
		一般財源		9, 265			
		合 計		72, 365			
手段・手法【実施手法：直営・委託】		3. 活動内容					
・公園内の老朽化及び破損した遊具、設備等を撤去・更新します。 ・遊具等を適正に維持するための長寿命化計画等に基づいた補修を行います。 ・利用者の要望等により、既設公園内に新たな遊具、設備などを設置します。	活動指標 1	名称	公園施設長寿命化計画に基づき更新した施設の数			単位	箇所
		内容説明	計画に基づき1年間で更新した施設の数				
		指標値	6年度		7年度（当該年度）	8年度	
			予 定	10	35	0	
			実 績	5	24	――	
成 果（効果・予測）							
・公園の安全性が保たれます。 ・公園の機能と利用者の利便性が向上します。	活動指標 2	名称	公園施設長寿命化計画に基づき補修した施設の数			単位	箇所
		内容説明	計画に基づき1年間に補修した施設の数				
		指標値	6年度		7年度（当該年度）	8年度	
			予 定	15	322	66	
			実 績	13	55	――	
課 題	活動指標 3	名称	長寿命化計画対象外施設の新設又は更新数			単位	箇所
		内容説明	計画によらず1年間に新設・更新した施設数				
		指標値	6年度		7年度（当該年度）	8年度	
			予 定	35	35	35	
			実 績	22	19	――	
・整備後約30年が経過した公園が都市公園の約7割を占め、施設の損傷や老朽化などが進んでいます。このため、今後も公園施設長寿命化計画等に基づき計画的な遊具等の補修・更新を行う必要があります。	活動指標 4	名称				単位	
		内容説明					
		指標値	6年度		7年度（当該年度）	8年度	
			予 定				
			実 績			――	

4. 今後の方針等						
今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続	7年度	I：現状のまま継続
	・公園施設の長寿命化計画に基づき、老朽化した遊具等の補修、更新を計画的に行い、利用者の安全を確保していきます。 ・使用材料の耐久性、コスト面を考慮しながら、より経費の削減が図れるような更新を心がけ継続していきます。					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	5年度	6年度	7年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	公園管理者である市の関与が必要です。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	5年度	6年度	7年度	A：十分に成果を上げている。
	A	A	A	市民が安心して安全な公園利用ができるよう、公園施設長寿命化計画等に基づく計画的な遊具等の補修、更新を進めるとともに、状況に応じた公園施設の補修、更新を行う必要があります。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	5年度	6年度	7年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	適正な契約行為により事業費が決定しています。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	5年度	6年度	7年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	市民の誰もが自由に利用できることを原則としているため、受益の公平性と負担の適正化が図られています。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	5年度	6年度	7年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	市民の要望を取り入れた事業実施を行っています。事業実施に当たってはユニバーサルデザインを考慮するとともに、低公害型の機器等の使用による環境負担軽減に配慮した設計を行っています。また、工事材料に再生材を用いる等、SDGsの達成に向けた取り組みを行っています。

事務事業名	緑化施策の企画・調整・推進事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境共生部	みどり公園課	みどり推進係	玉田 結城

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		人と環境に優しい都市空間が広がるまち	
	施策分野		環境保全	
	めざす姿		緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる	
根拠法令	名 称	都市緑地法		
		森林法		
当該事業の法令等による義務付けの有無			無	
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	
	平成18年度		設定無し	

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
市内に存する緑と市民、行政及び企業		6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）
	事業費	138	99	6,000
	人件費	1,309	6,426	7,229
目 的	総事業費	1,447	6,525	13,229
緑の基本計画に基づいた施策を実施することで、緑に関する総合的かつ計画的な進行管理を図り、緑地の保全や市街地の緑化推進につなげます。 手段、手法【実施手法：直営・委託】 ・緑の基本計画や環境基本計画に数値を示すなどの具体的な目標を定め、諸施策の進捗を管理します。 ・緑地の保全と緑化の推進に係る啓発活動を行います。 この活動の一環として、2027年国際園芸博覧会に園芸作品を出展します。	8年度事業費（予算額）財源内訳			
	国支出金		0	
	県支出金		0	
	市債		0	
	その他		6,000	
	一般財源		0	
	合 計		6,000	

3. 活動内容

活動指標1	名称	緑地の割合			単位	%
	内容説明	固定資産税台帳を元に算出				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	14.9	14.7	14.6	
		実 績	14.7	14.6	――	
活動指標2	名称	啓発活動を行った事業数			単位	事業
	内容説明	令和7年度：木製玩具製作、国際園芸博覧会出展準備				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	0	0	1	
		実 績	0	2	――	
活動指標3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定				
		実 績			――	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定				
		実 績			――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続	7年度	II：見直しのうえで継続
	・緑の基本計画の改定に向けた準備を行います。 ・土地所有者と交渉し、保全緑地や市民緑地、保存樹林などのまとまった緑地を確保できるようにします。 ・倒木の恐れがある樹木の伐採等について、緑地内の通路沿いや道路、民地の境界沿いなどを優先して対応します。 ・2027年国際園芸博覧会に園芸作品を出展します。					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	5年度	6年度	7年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	市内の緑化推進や緑地の保全を図るための諸施策を行っていくことから、市の関与が必要です。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	5年度	6年度	7年度	A：十分に成果を上げている。
	A	A	A	大規模緑地で伐採した木を活用したカプセルトイの作成や2027年国際園芸博覧会への出展準備を行うなど、緑に関する啓発活動を積極的に行っていることから、成果は十分に上げていると言えます。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	5年度	6年度	7年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	諸施策を行うにあたり、必要最低限の人件費と委託費のため、事業費は適切な水準にあります。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	5年度	6年度	7年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	諸施策には多くの市民が参加していることから、受益・負担の公平性は保たれています。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	5年度	6年度	7年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	諸施策には多くの市民が参加しています。また、緑のカーテンの確保は地球温暖化対策等の環境負担軽減、カプセルトイの作成や2027年国際園芸博覧会への出展は緑化推進の情報提供に役立っています。

事務事業名	街区公園等整備事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境共生部	みどり公園課	公園整備係	玉田 結城

1. 位置づけ・事務事業の期間					
総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		人と環境に優しい都市空間が広がるまち		
	施策分野		都市環境整備		
	めざす姿		公園を快適に利用している		
根拠法令	名 称	都市公園法			
		高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律			
		大和市都市公園条例			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
					設定無し

2. 事務事業の概要						
対 象		総事業費 (単位：千円)				
市民			6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）	
		事業費	0	0	0	
		人件費	1,579	1,003	803	
目 的		総事業費	1,579	1,003	803	
街区公園等を整備することで、周辺住民の憩いや遊びの場の確保を図り、もって快適な公園利用につなげます。		8年度事業費（予算額）財源内訳				
		国支出金		0		
		県支出金		0		
		市債		0		
		その他		0		
		一般財源		0		
		合 計		0		
手段、手法【実施手法：直営・委託】						
・新たに公園用地として確保した市有地や借用地を、街区公園等として整備します。						
3. 活動内容						
活動指標 1	名称	公園整備面積			単位	ha
	内容説明	公園整備面積（年間）				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	0	0	0	
		実 績	0	0	— — —	
活動指標 2	名称	市民1人当たりの都市公園面積			単位	㎡
	内容説明	緑の基本計画に定める市民1人当たりの都市公園面積				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	6.9	6.9	6.9	
		実 績	3.38	3.37	— — —	
活動指標 3	名称	市民1人当たりの公園等面積			単位	㎡
	内容説明	泉の森や緑の広場等を含めた市民1人当たりの公園等面積				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	7.6	7.6	7.6	
		実 績	6.57	6.78	— — —	
活動指標 4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定				
		実 績			— — —	
課 題						
・本市の公園整備は、大和市緑の基本計画に掲げる都市公園の住民一人当たりの面積が目標値を大きく下回っているため、計画的に整備を進める必要があります。						
・また、コミュニティ形成や災害時の避難場所等の拠点として重要な役割を果たす街区公園は、地区によりばらつきが生じないように適正に配置する必要があります。						

4. 今後の方針等					
今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続	7年度 I：現状のまま継続
	・令和8年度は、公園の整備を行わず、令和9年以降の整備に向けて検討を進めます。				

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	5年度	6年度	7年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	都市公園法に定める公園は、市民の憩いや交流の場、また災害時の一時避難場所となる公共性の高い施設であるため、市が関与する必要があります。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	5年度	6年度	7年度	B：成果を上げる余地が一部ある。
	A	B	B	都市公園の住民一人当たりの面積が目標値に達していないため、整備のペースを上げていく必要があります。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	5年度	6年度	7年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	事業の検討に必要な最低限の人件費で対応しています。なお、整備実施には事業費を要します。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	5年度	6年度	7年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	市民の誰もが自由に利用できることを原則としているため、受益の公平性と負担の適正化が図られています。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	5年度	6年度	7年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	市民の要望を取り入れた事業実施を行っています。事業実施に当たってはユニバーサルデザインを考慮するとともに、低公害型の機器等の使用による環境負担軽減に配慮した設計を行っています。また、工事材料に再生材を用いる等、SDGsの達成に向けた取り組みを行っています。

事務事業名	緑化推進支援事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境共生部	みどり公園課	みどり推進係	玉田 結城

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標	人と環境に優しい都市空間が広がるまち		
	施策分野	環境保全		
	めざす姿	緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間	
	平成02年度	令和07年度	36年	

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
市民		6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）
	事業費	2,123	762	0
	人件費	1,154	803	0
目 的	総事業費	3,277	1,565	0
市民が自ら取り組む緑化活動を支援することで、市民の緑に対する意識の高揚を図り、市街地の緑化推進につながります。 手段、手法【実施手法：委託】 ・グリーンアップセンター内の「みどりの相談コーナー」に相談員を配置し、市民からの緑に関する質問に答えます。	8年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		0
		合 計		0

活動指標1	名称	緑化相談		単位	件
	内容説明	緑化相談件数			
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
		予 定	500	200	0
		実 績	367	118	――
活動指標2	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
		予 定			
		実 績			――
活動指標3	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
		予 定			
		実 績			――
活動指標4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
		予 定			
		実 績			――

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	6年度	Ⅰ：現状のまま継続	7年度	Ⅲ：廃止または終了
	・令和8年度から、「緑化施策の企画・調整・推進事業」に統合して実施しています。					

事務事業名	保存樹林等支援事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境共生部	みどり公園課	みどり推進係	玉田 結城

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		人と環境に優しい都市空間が広がるまち		
	施策分野		環境保全		
	めざす姿		緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる		
根拠法令	名 称	大和市緑化の推進、緑の保全等に関する条例			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無			
事務事業の期間	事業開始年度 昭和48年度		事業終了（予定）年度		事業期間 設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
保存樹林、保存樹木又は保存生け垣としての指定要件を満たす物件の所有者		6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）
	事業費	23,502	21,686	23,518
	人件費	1,538	1,205	803
目 的	総事業費	25,040	22,891	24,321
保存樹林等を指定することで、自然に恵まれた生活環境の確保を図り、緑地の保全や市街地の緑化推進につなげます。	8年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
手段、手法【実施手法：直営】 ・要件を満たす緑を保存樹林、保存樹木又は保存生け垣として指定し、緑化奨励金を支給します。		県支出金		0
		市債		0
		その他		23,518
		一般財源		0
		合 計		23,518

3. 活動内容

活動指標1	名称	保存樹林の協定面積			単位	㎡
	内容説明	協定を締結している山林の面積				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	67,272	65,770	59,458	
		実 績	65,770	59,458	— — —	
活動指標2	名称	保存生け垣の協定箇所数			単位	箇所
	内容説明	協定を締結している生け垣数				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	153	150	33	
		実 績	150	39	— — —	
活動指標3	名称	保存樹木の協定本数			単位	本
	内容説明	協定を締結している樹木数				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	37	37	10	
		実 績	37	10	— — —	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定				
		実 績			— — —	

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	6年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	7年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	・引き続き、保存樹林等の管理状況を確認し、管理が行き届いていないものについては、所有者へ改善するよう適宜指導します。					

事務事業名	みどり基金管理事務			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境共生部	みどり公園課	みどり推進係	玉田 結城

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		人と環境に優しい都市空間が広がるまち		
	施策分野		環境保全		
	めざす姿		緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる		
根拠法令	名 称	大和市みどり基金条例			
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有			
事務事業の期間	事業開始年度 昭和61年度		事業終了（予定）年度		事業期間 設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
大和市みどり基金、市民		6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）
	事業費	2,308	5,791	592
	人件費	1,923	2,008	3,373
目 的	総事業費	4,231	7,799	3,965
大和市みどり基金の適正な管理を行うことで、緑地の取得や維持管理、啓発活動などに必要な費用の確保を図り、緑地の保全や市街地の緑化推進につなげます。	8年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
		県支出金		0
手段、手法【実施手法：直営】		市債		0
		その他		592
		一般財源		0
		合 計		592
・みどり基金を運用します。 ・寄附金の受付を行います。 ・募金活動を行います。 ・自然環境の保全や緑化の推進に関する事業にみどり基金を活用します。				

3. 活動内容

金を活用します。	活動指標1	名称	みどり基金募金活動			単位	日	
		内容説明	イベント等で募金活動した日数					
		指標値	6年度		7年度 (当該年度)	8年度		
			予 定	4	4	2		
成 果 (効果・予測)	指標値	実 績	4	4	— — —			
	・ 自然環境の保全及び緑化推進の事業に要する費用を確保することができます。 ・ 募金活動や寄附金の受付を通じて、市民の緑に対する意識の高揚及び地域における緑化活動の推進を図ることができます。	活動指標2	名称	基金運用利子			単位	千円
			内容説明	公債購入等による運用利子				
指標値			6年度		7年度 (当該年度)	8年度		
			予 定	1, 446	4, 234	6, 674		
課 題	指標値	実 績	2, 159	4, 630	— — —			
	・ みどり基金の活用については、残高が年々減少傾向にあるため、その使途の必要性や重要性を精査した上で、慎重に行う必要があります。	活動指標3	名称				単位	
			内容説明					
指標値			6年度		7年度 (当該年度)	8年度		
			予 定					
	指標値	実 績			— — —			
		活動指標4	名称				単位	
			内容説明					
指標値			6年度		7年度 (当該年度)	8年度		
			予 定					
	指標値	実 績			— — —			

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続	7年度	I：現状のまま継続
	・みどり基金の効率的な運用を引き続き行います。					
	・良好な自然環境の保全、緑化の推進を図るための事業へのみどり基金の活用に対し、その使途の必要性や重要性を精査した上で、慎重に検討します。					

事務事業名	引地台公園・温水プール・立体駐車場管理運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境共生部	みどり公園課	公園管理事務所	玉田 結城

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		人と環境に優しい都市空間が広がるまち		
	施策分野		都市環境整備		
	めざす姿		公園を快適に利用している		
根拠法令	名 称	都市公園法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	平成03年度				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費				(単位：千円)		
		6年度（決算額）		7年度（決算額）		8年度（予算額）	
	事業費	171,255		171,035		199,346	
	人件費	1,538		6,426		4,016	
	総事業費	172,793		177,461		203,362	
引地台温水プール、引地台温水プール立体駐車場、引地台公園を利用する市民等							
目的							
適正な管理運営を行うことで、安全で健康的に楽しめる環境の確保を図り、公園の快適な利用につなげます。							
手段、手法【実施手法：指定管理】							
・指定管理者制度を活用し、施設の維持管理及び運営を行います。							
8年度事業費（予算額）財源内訳							
国支出金0							
県支出金0							
市債0							
その他12,000							
一般財源187,346							
合 計199,346							
3. 活動内容							
活動指標1	名称	年間開場日数				単位	日
	内容説明	1年間に開場した日数（引地台温水プール）					
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度		
		予 定	280	280	283		
		実 績	283	285	――		
成果（効果・予測）							
・施設を適正に管理運営することにより、市民が安心して利用できる環境を維持することができます。							
活動指標2	名称	1日当たりの入場者数				単位	人
	内容説明	1日平均					
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度		
		予 定	700	640	640		
		実 績	554	576	――		
活動指標3	名称					単位	
	内容説明						
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度		
		予 定					
		実 績			――		
課題							
・利用している市民の安全確保が最優先の課題ですが、引地台温水プールは設置後30年以上が経過しているため、老朽化への対応は喫緊の課題です。							
・市立小中学校の水泳授業を同プールで受け入れており、老朽化への対応の重要性が増しています。							
活動指標4	名称					単位	
	内容説明						
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度		
		予 定					
		実 績			――		

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続	7年度	I：現状のまま継続
	・令和8年度から令和12年度までの5年間についても引き続き指定管理者制度に基づく管理運営を行います。 ・温水プールの施設調査委託の結果を踏まえ、優先度を決めて補修や改修等の実施を検討します。					

事務事業名	多胡記念公園維持管理事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境共生部	みどり公園課	公園管理事務所	玉田 結城

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		人と環境に優しい都市空間が広がるまち		
	施策分野		都市環境整備		
	めざす姿		公園を快適に利用している		
根拠法令	名 称	都市公園法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	平成11年度				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)			
多胡記念公園（慈緑庵）を利用する市民等		6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）
	事業費	5,867	5,867	8,562
	人件費	2,307	1,606	1,606
目 的	総事業費	8,174	7,473	10,168
多胡記念公園及び慈緑庵の適切な管理運営を行うことで、安全で良好な利用環境の確保を図り、公園の快適な利用につなげます。	8年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
手段、手法【実施手法：指定管理】 ・指定管理者制度を活用し、施設の維持管理及び運営を行います。		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		8,562
		合 計		8,562

3. 活動内容

活動指標1	名称	年間開館日数			単位	日
	内容説明	1年に開館した日数				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	300	300	300	
		実 績	307	308	――	
活動指標2	名称	1日当たりの入場者数			単位	人
	内容説明	1日平均				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	20	15	15	
		実 績	12	13	――	
活動指標3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定				
		実 績			――	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定				
		実 績			――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続	7年度	I：現状のまま継続
	・令和8年度から令和12年度までの5年間についても引き続き指定管理者制度に基づく管理運営を行います。 ・幅広い世代の方に利用していただけるよう、小学生を含め若い年齢層への利用を促すためにホームページ等でPRを行います。					

事務事業名	公園用地等借受事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境共生部	みどり公園課	公園整備係	玉田 結城

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		人と環境に優しい都市空間が広がるまち	
	施策分野		都市環境整備	
	めざす姿		公園を快適に利用している	
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
	昭和49年度			

2. 事務事業の概要					
対 象		総事業費（単位：千円）			
公園用地等			6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）
		事業費	25,315	24,723	24,418
		人件費	3,076	3,814	7,227
目 的		総事業費	28,391	28,537	31,645
公園等用地を確保することで、憩いや遊びの環境づくりを推進し、公園の快適な利用環境の創出につなげます。 手段、手法【実施手法：直営】 ・土地所有者から土地を借り上げ、緑の広場として市民に開放します。 ・大和ゆとりの森や泉の森等において国有地、県有地、民有地の継続借受及び新規借受を行います。		8年度事業費（予算額）財源内訳			
			国支出金		0
			県支出金		0
			市債		0
			その他		0
			一般財源		24,418
			合 計		24,418
		3. 活動内容			
		活動指標1	名称	緑の広場賃借	単位 件
			内容説明	緑の広場賃借数	
			指標値	6年度	7年度（当該年度）
				予 定	15
				実 績	15
成 果（効果・予測）	・子どもの遊び場、近隣住民のコミュニケーションの場、その他オープンスペースとしての機能が期待されます。	活動指標2	名称	公園等用地借受面積	単位 ㎡
			内容説明	公園等用地として借受けている面積	
			指標値	6年度	7年度（当該年度）
				予 定	435,893
				実 績	435,893
課 題	・賃貸借での用地借受となるため地権者の都合により継続できなくなる可能性があります。	活動指標3	名称		単位
			内容説明		
			指標値	6年度	7年度（当該年度）
				予 定	
				実 績	
		活動指標4	名称		単位
			内容説明		
			指標値	6年度	7年度（当該年度）
				予 定	
				実 績	

4. 今後の方針等					
今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続	7年度 II：見直しのうえで継続
	・引き続き、公園不足地域における公園の代替として、緑の広場等の用地を借り上げます。				
	・公園が充足している地域も一部あり、積極的な新設は見直しを検討します。				

事務事業名	緑化ボランティア等育成支援事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境共生部	みどり公園課	公園管理事務所	玉田 結城

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		人と環境に優しい都市空間が広がるまち		
	施策分野		環境保全		
	めざす姿		緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる		
根拠法令	名 称				
当該事業の法令等による義務付けの有無		無			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和59年度				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
緑地保全・緑化推進等のボランティア活動に参加している（参加しようとしている）市民団体（公園愛護会等登録団体）		6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）
	事業費	7,181	7,169	4,780
	人件費	3,231	2,811	2,811
目 的	総事業費	10,412	9,980	7,591
ボランティア活動を継続できる環境を整備することで、緑に対する愛護思想の普及等を図り、緑地の保全や市街地の緑化推進につなげます。	8年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
手段、手法【実施手法：直営】 ・公園愛護会、みどりの愛護会のボランティアに対する支援を行います。 ・公園愛護会については、交付金の交付や物品の供給により、公園等の清掃、除草などの活動を支援します。 ・みどりの愛護会については、年2回花苗を配布し、公共空地において花の植栽などの活動を支援します。		県支出金		0
		市債		0
		その他		241
		一般財源		4,539
		合 計		4,780

3. 活動内容

活動指標1	名称	公園愛護会登録団体数			単位	団体
	内容説明	公園愛護会登録をしている団体の数				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	120	115	110	
		実 績	114	110	―――	
活動指標2	名称	愛護会花苗配布団体			単位	団体
	内容説明	花苗配布団体数（令和8年度からみどりの愛護会のみ配布）				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	115	133	16	
		実 績	115	106	―――	
活動指標3	名称	みどりの愛護会登録団体数			単位	団体
	内容説明	みどりの愛護会登録をしている団体の数				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	0	0	16	
		実 績	0	16	―――	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定				
		実 績			―――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続	7年度	I：現状のまま継続
	・緑地の保全や市街地の緑化推進を図るためには、地域住民の緑に対する理解とボランティア活動への積極的な参加が必要であることから、引き続き各愛護会を支援していきます。 ・市の広報紙やホームページを活用し、登録団体の募集を広く呼びかけていきます。					

事務事業名	自然観察センター・しらかしのいえ管理運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境共生部	みどり公園課	みどり推進係	玉田 結城

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		人と環境に優しい都市空間が広がるまち		
	施策分野		環境保全		
	めざす姿		緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる		
根拠法令	名 称				
当該事業の法令等による義務付けの有無		無			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	平成05年度				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
市民等		6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）
	事業費	24,158	24,928	25,187
	人件費	1,154	1,606	2,008
目 的	総事業費	25,312	26,534	27,195
施設の適切な管理を行い、市民等と協働で運営することで、市民ニーズに合った自然関連活動等の拠点を作り、緑地の保全や市街地の緑化推進につなげます。	8年度事業費（予算額）財源内訳			
	国支出金		0	
手段、手法【実施手法：直営・委託】 ・しらかしのいえの施設管理を行います。 ・市民、委託業者、市の三者による運営委員会ですらかしのいえを運営します。 ・自然関連の催しを実施します。 ・大規模緑地のボランティアを育成します。	県支出金		0	
	市債		0	
	その他		0	
	一般財源		25,187	
	合 計		25,187	

3. 活動内容

活動指標1	名称	年間開館日数			単位	日
	内容説明	1年間に開館した日数				
	指標値	予 定	6年度	7年度（当該年度）	8年度	
			300	308	307	
	指標値	実 績	307	308	――	
活動指標2	名称	運営委員会開催回数			単位	回
	内容説明	しらかしのいえ運営委員会を開催した回数				
	指標値	予 定	6年度	7年度（当該年度）	8年度	
			0	0	6	
	指標値	実 績	0	0	――	
活動指標3	名称	ボランティア対象講演会開催回数			単位	回
	内容説明	ボランティア対象の講演会を開催した回数				
	指標値	予 定	6年度	7年度（当該年度）	8年度	
			0	0	1	
	指標値	実 績	0	0	――	
活動指標4	名称	教室・講座・観察会等開催回数			単位	回
	内容説明	泉の森・しらかしのいえで開催した教室等の回数				
	指標値	予 定	6年度	7年度（当該年度）	8年度	
			0	0	34	
	指標値	実 績	0	35	――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続	7年度	I：現状のまま継続
	【令和7年度に実施した「自然観察センター・しらかしのいえ維持管理事業」として評価】 ・老朽化の状況を十分に把握し、優先順位をつけながら修繕や設備の更新を行います。 ・市の広報紙やホームページを活用し、ボランティアの募集を広く呼びかけていきます。					

事務事業名	グリーンアップセンター管理運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境共生部	みどり公園課	みどり推進係	玉田 結城

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		人と環境に優しい都市空間が広がるまち		
	施策分野		環境保全		
	めざす姿		緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる		
根拠法令	名 称				
当該事業の法令等による義務付けの有無			無		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	平成05年度				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)			
グリーンアップセンターを利用する市民等		6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）
	事業費	23,802	23,992	22,805
	人件費	1,154	1,606	1,606
目 的	総事業費	24,956	25,598	24,411
グリーンアップセンターを適切に管理運営することで、市民へ都市緑化の啓発や知識の普及を図り、緑地の保全や市街地の緑化推進につなげます。 手段、手法【実施手法：委託】 ・グリーンアップセンターの施設管理を行います。 ・グリーンアップセンターの運営を行います。 ・都市緑化の催しを実施します。	8年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		22,805
		合 計		22,805
	3. 活動内容			
	活動指標1	名称	年間開館日数	単位 日
		内容説明	1 年間に開館した日数	
		指標値	6年度	7年度（当該年度）
			予 定	300
			実 績	307
成 果（効果・予測） ・市民に対して都市緑化の啓発及び知識の普及を行うことができます。 ・市民が自主的に自宅などで緑化を行うことにより、都市緑化が進みます。	活動指標2	名称	教室・講座等開催回数	単位 回
		内容説明	グリーンアップセンターで開催した教室等の回数	
		指標値	6年度	7年度（当該年度）
			予 定	0
			実 績	9
	活動指標3	名称		単位
		内容説明		
		指標値	6年度	7年度（当該年度）
			予 定	
			実 績	
課 題 ・施設の老朽化が進んでおり、早期の修繕や設備の更新が必要ですが、費用が高額であることから、予算の確保が課題です。	活動指標4	名称		単位
		内容説明		
		指標値	6年度	7年度（当該年度）
			予 定	
			実 績	

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	II：見直しのうえで継続	7年度	I：現状のまま継続
	【令和7年度に実施した「グリーンアップセンター維持管理事業」として評価】					
	・老朽化の状況を十分に把握し、優先順位をつけながら修繕や設備の更新を行います。					

事務事業名	自然観察センター・しらかしのいえ運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境共生部	みどり公園課	みどり推進係	玉田 結城

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		人と環境に優しい都市空間が広がるまち		
	施策分野		環境保全		
	めざす姿		緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる		
根拠法令	名 称				
当該事業の法令等による義務付けの有無		無			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	平成13年度		令和07年度		

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)			
市民		6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）
	事業費	39	39	0
	人件費	846	402	0
目 的	総事業費	885	441	0
市民・委託業者・市で運営することで、市民ニーズに合った自然関連活動等の拠点作りを図り、緑地の保全や市街地の緑化推進につなげます。 手段、手法【実施手法：直営・委託】 ・市民、委託業者、市の三者による運営委員会ですらかしのいえを運営します。 ・大規模緑地のボランティアを育成します。	8年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		0
		合 計		0

活動指標1	名称	運営委員会開催回数			単位	回
	内容説明	しらかしのいえ運営委員会を開催した回数				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	6	6	0	
		実 績	6	6	――	
活動指標2	名称	講演会開催回数			単位	回
	内容説明	しらかしのいえボランティア協議会員を対象とした講演会回数				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	1	1	0	
		実 績	1	1	――	
活動指標3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定				
		実 績			――	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定				
		実 績			――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続	7年度	Ⅲ：廃止または終了
	・令和8年度からは「自然観察センター・しらかしのいえ維持管理事業」と統合し、「自然観察センター・しらかしのいえ管理運営事業」として実施します。					

事務事業名	公園台帳整備事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境共生部	みどり公園課	公園整備係	玉田 結城

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		人と環境に優しい都市空間が広がるまち		
	施策分野		都市環境整備		
	めざす姿		公園を快適に利用している		
根拠法令	名 称	都市公園法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和63年度				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)			
都市公園及び都市公園とする公園		6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）
	事業費	3,190	2,420	0
	人件費	2,348	1,403	1,203
目 的	総事業費	5,538	3,823	1,203
都市公園法で規定された台帳の整備を行うことで、都市公園の適正管理を図り、もって公園の安全で快適な利用につなげます。	8年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
手段、手法【実施手法：委託】		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		0
		合 計		0
・都市公園の公園台帳を整備します。				
・台帳は、公園の名称・所在・面積・沿革・施設の設置状況及び構造・許可の状況その他を記載した調書並び				

に図面から構成されます。

3. 活動内容										
活動指標1	名称	台帳整備							単位	箇所
	内容説明	台帳を整備した公園の箇所								
	指標値			6年度	7年度	(当該年度)		8年度		
		予 定		3	1		0			
		実 績		3	1		— — —			
活動指標2	名称								単位	
	内容説明									
	指標値			6年度	7年度	(当該年度)		8年度		
		予 定								
		実 績					— — —			
活動指標3	名称								単位	
	内容説明									
	指標値			6年度	7年度	(当該年度)		8年度		
		予 定								
		実 績					— — —			
活動指標4	名称								単位	
	内容説明									
	指標値			6年度	7年度	(当該年度)		8年度		
		予 定								
		実 績					— — —			

成 果 (効果・予測)									
- 公園の状況を的確に把握することができ、適正な管理を行うことができます。 - 管理業務の省力化が図れます。									
課 題									
管理業務の省力化に向け、電子化されていない旧台帳を再整備する必要があります。									

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続	7年度	I：現状のまま継続
	・管理業務の省力化に向け、電子化されていない旧台帳を再整備します。					

事務事業名	野生鳥獣保護事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境共生部	みどり公園課	みどり推進係	玉田 結城

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		人と環境に優しい都市空間が広がるまち			
	施策分野		環境保全			
	めざす姿		緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる			
根拠法令	名 称	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律				
		特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律				
当該事業の法令等による義務付けの有無			有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間	
	平成09年度				設定無し	

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
野生鳥獣の捕獲・飼養の許可等を受けようとする市民		6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）
	事業費	3,969	4,362	3,931
	人件費	2,233	5,301	6,827
目 的	総事業費	6,202	9,663	10,758
野生鳥獣の捕獲等を行うことで、生物多様性の確保や生活環境の保全を図り、自然環境の恵沢を享受できる生活の確保につなげます。	8年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金	0	
手段、手法【実施手法：直営・委託】 ・野生鳥獣の捕獲を許可します。 ・野生鳥獣の飼養を登録します。 ・特定外来生物であるアライグマとクリハラリス、有害なハクビシンの捕獲を行います。 ・市ホームページや広報紙、市民からの問い合わせなどを通じて、野生鳥獣の保護や管理について周知します。		県支出金	1,555	
		市債	0	
		その他	0	
		一般財源	2,376	
		合 計	3,931	

3. 活動内容

活動指標1	名称	野生鳥獣生活被害相談件数			単位	件
	内容説明	野生鳥獣による生活被害について相談を受けた件数				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	220	300	300	
		実 績	292	282	――	
活動指標2	名称	特定外来生物と有害鳥獣の捕獲数			単位	体
	内容説明	アライグマ、タイワンリス、ハクビシン				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	35	35	80	
		実 績	35	74	――	
活動指標3	名称	有害鳥獣の捕獲に係る許可件数			単位	件
	内容説明	鳥獣保護管理法に基づく捕獲				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	0	0	35	
		実 績	0	35	――	
活動指標4	名称	特定外来生物の捕獲に係る従事者証交付件数			単位	件
	内容説明	県の防除実施計画に基づく捕獲（アライグマとクリハラリス）				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	0	0	35	
		実 績	0	34	――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	6年度	Ⅰ：現状のまま継続	7年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	・市民からの被害情報をもとに生息エリアなどを分析した上で効果的な捕獲を図ります。 ・市でわなを追加購入し、住処の可能性が高い緑地等へ積極的に設置します。 ・市民にわなの購入や捕獲許可等について、積極的に周知を図ります。 ・野生鳥獣との付き合い方や対処法について、広報紙やホームページで紹介し積極的に周知を図ります。					

事務事業名	ゆとりの森整備事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境共生部	みどり公園課	公園整備係	玉田 結城

1. 位置づけ・事務事業の期間					
総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		人と環境に優しい都市空間が広がるまち		
	施策分野		都市環境整備		
	めざす姿		公園を快適に利用している		
根拠法令	名 称	都市公園法			
		高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律			
当該事業の法令等による義務付けの有無		有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	平成15年度		令和12年度		
				28年	

2. 事務事業の概要					
対 象		総事業費（単位：千円）			
市民			6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）
		事業費	12,470	8,445	1,350
		人件費	4,655	5,818	11,241
目 的		総事業費	17,125	14,263	12,591
ゆとりの森の整備・維持管理を適正に行うことで、市民が安全にスポーツやレクリエーションを楽しめる環境の確保を図り、もって快適な公園利用につなげます。		8年度事業費（予算額）財源内訳			
			国支出金		0
手段、手法【実施手法：直営・委託】 ・基本計画、実施計画に基づきスポーツ施設、レクリエーション施設を整備します。 ・老朽化が進行している施設を計画的に補修・更新します。			県支出金		0
			市債		0
			その他		0
			一般財源		1,350
			合 計		1,350
3. 活動内容					
活動指標1	名称	整備面積			単位 ha
	内容説明	ゆとりの森整備完了面積（年間）			
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
		予 定	0	0	0
		実 績	0	0	――
活動指標2	名称	整備進捗率			単位 %
	内容説明	累計整備進捗率（整備済み面積÷計画面積×100）			
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
		予 定	91	91	91
		実 績	91	91	――
活動指標3	名称	公園施設の更新数			単位 箇所
	内容説明	1年間に更新した施設数			
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
		予 定	0	6	1
		実 績	0	6	――
活動指標4	名称				単位
	内容説明				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
		予 定			
		実 績			――

4. 今後の方針等					
今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続	7年度 I：現状のまま継続
	・利用者に喜ばれるような公園になるよう、事業内容を見直しながら整備を進めてまいります。				
	・更なる賑わい創出と利便性向上に向けた手法について、検討を進めてまいります。				

事務事業名	(公財) かながわトラストみどり財団に関する事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境共生部	みどり公園課	みどり推進係	玉田 結城

1. 位置づけ・事務事業の期間					
総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		人と環境に優しい都市空間が広がるまち		
	施策分野		環境保全		
	めざす姿		緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる		
根拠法令	名 称				
当該事業の法令等による義務付けの有無		無			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
					設定無し

2. 事務事業の概要							
対 象		総事業費 (単位：千円)					
市民			6年度（決算額）		7年度（決算額）	8年度（予算額）	
		事業費	0		0	0	
		人件費	769		803	402	
目 的		総事業費	769		803	402	
かながわトラストみどり財団に協力することで、市内に存するトラスト緑地の効率的な管理を図り、緑地の保全や市街地の緑化推進につなげます。		8年度事業費（予算額）財源内訳					
		国支出金		0			
		県支出金		0			
		市債		0			
		その他		0			
		一般財源		0			
		合 計		0			
		3. 活動内容					
活動指標 1	名称	かながわトラストみどり財団への協力件数				単位	件
	内容説明	契約事務や管理に協力した件数					
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度		
		予 定	10	10	10		
		実 績	5	7	— — —		
活動指標 2	名称					単位	
	内容説明						
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度		
		予 定					
		実 績			— — —		
活動指標 3	名称					単位	
	内容説明						
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度		
		予 定					
		実 績			— — —		
活動指標 4	名称					単位	
	内容説明						
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度		
		予 定					
		実 績			— — —		
課 題							
・かながわトラストみどり財団が市外にあるため、トラスト緑地の管理に緊急を要する場合の速やかな対応が難しいことが課題です。							

4. 今後の方針等						
今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続	7年度	I：現状のまま継続
	・今後も、かながわトラストみどり財団と協力して、市内の緑地保全を継続して行っています。					

事務事業名	市民緑地設置推進事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境共生部	みどり公園課	みどり推進係	玉田 結城

1. 位置づけ・事務事業の期間					
総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		人と環境に優しい都市空間が広がるまち		
	施策分野		環境保全		
	めざす姿		緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる		
根拠法令	名 称	都市緑地法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
					設定無し

2. 事務事業の概要						
対 象		総事業費 (単位：千円)				
市内に存する一定要件を満たす土地の所有者及び市民			6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）	
		事業費	0	0	0	
		人件費	769	803	803	
目 的		総事業費	769	803	803	
市民緑地を管理することで、市民が緑と触れ合える場や生物の生息・生育地となる身近な場所の確保などを図り、緑地の保全や市街地の緑化推進につなげます。 手段、手法【実施手法：直営・委託】 ・土地所有者からの申し出により市民緑地契約を締結します。 ・市民緑地を地域住民団体への委託または市により管理します。		8年度事業費（予算額）財源内訳				
		国支出金		0		
		県支出金		0		
		市債		0		
		その他		0		
		一般財源		0		
		合 計		0		
		3. 活動内容				
活動指標 1	名称	市民緑地箇所数			単位	箇所
	内容説明		市民緑地の箇所数			
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	2	2	2	
		実 績	2	2	――	
活動指標 2	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定				
		実 績			――	
活動指標 3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定				
		実 績			――	
活動指標 4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定				
		実 績			――	
課 題						
・都市化が進み、市民緑地の対象となる場所が限られている中、新規指定がありません。 ・地権者の高齢化に伴い、相続に伴う売却や土地利用などの相談が増える可能性があります。						

4. 今後の方針等						
今後の方針等	5年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	6年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	7年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	・ 指定箇所が増えるよう、今後も保存樹林に指定されている山林の所有者に対し、市民緑地への移行の声かけを積極的に進めていきます。					

事務事業名	民間開発への指導事務			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境共生部	みどり公園課	みどり推進係	玉田 結城

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		人と環境に優しい都市空間が広がるまち		
	施策分野		環境保全		
	めざす姿		緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる		
根拠法令	名 称	都市計画法			
		大和市開発事業の手続及び基準に関する条例			
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間 設定無し	

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
開発事業者		6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）
	事業費	0	0	0
	人件費	3,076	3,213	2,811
目 的	総事業費	3,076	3,213	2,811
開発事業者に公園設置や緑化の指導等を行うことで、住宅や事業所等への緑の配置を図り、市街地の緑化推進につなげます。 手段、手法【実施手法：直営】 ・開発事業者に対し、開発事業で造成される宅地の面積に応じて指導・協力依頼をします。	8年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		0
		合 計		0
	3. 活動内容			
	活動指標1	名称	開発協議件数	単位 件
		内容説明	緑化や公園設置の指導・協力依頼件数	
		指標値	6年度	7年度（当該年度）
			予 定	70
			実 績	45
成 果（効果・予測） ・開発事業者自らが公園の設置や緑化を行うことにより、新たな緑を創出することができます。	活動指標2	名称		単位
		内容説明		
		指標値	6年度	7年度（当該年度）
			予 定	
			実 績	
	活動指標3	名称		単位
		内容説明		
		指標値	6年度	7年度（当該年度）
			予 定	
			実 績	
課 題 ・開発事業により帰属・寄付される公園は小規模なものが多く、市民への効果が限定的である一方で、市による維持管理の負担は増えるといった課題があります。	活動指標4	名称		単位
		内容説明		
		指標値	6年度	7年度（当該年度）
			予 定	
			実 績	

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続	7年度	I：現状のまま継続
	・開発事業者への指導・協力依頼を引き続き行うことにより、より多くの緑を確保できるようにします。					

事務事業名	ゆとりの森管理運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境共生部	みどり公園課	公園整備係	玉田 結城

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		人と環境に優しい都市空間が広がるまち		
	施策分野		都市環境整備		
	めざす姿		公園を快適に利用している		
根拠法令	名 称	都市公園法			
		地方自治法			
当該事業の法令等による義務付けの有無			有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	平成21年度				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費				(単位：千円)		
大和ゆとりの森を利用する市民等		6年度（決算額）		7年度（決算額）		8年度（予算額）	
	事業費	60,748		70,107		68,133	
	人件費	6,193		3,612		6,825	
目 的	総事業費	66,941		73,719		74,958	
適正な管理運営を行うことで、スポーツとレクリエーションを楽しめる環境の確保を図り、公園の快適な利用につなげます。	8年度事業費（予算額）財源内訳						
		国支出金				0	
		県支出金				0	
		市債				0	
		その他				15,919	
		一般財源				52,214	
		合 計				68,133	
手段、手法【実施手法：指定管理】 ・指定管理者制度を活用し、施設の維持管理及び運営を行います。	3. 活動内容						
	活動指標 1	名称	管理日数			単位	日
		内容説明	ゆとりの森の管理日数				
		指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
			予 定	365	365	365	
			実 績	365	365	— — —	
	活動指標 2	名称	利用満足度			単位	点
内容説明		利用者を対象に実施するアンケート結果（5点満点）					
指標値			6年度	7年度（当該年度）	8年度		
		予 定	4.5	4.5	4.5		
		実 績	4.44	4.46	— — —		
活動指標 3	名称	自主事業数			単位	件	
	内容説明	指定管理者が実施する自主事業の数					
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度		
		予 定	50	50	50		
		実 績	41	61	— — —		
課 題 ・芝生の園地が多いので、草刈り等の適切な管理が必要です。	活動指標 4	名称				単位	
		内容説明					
		指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
			予 定				
			実 績			— — —	

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続	7年度	I：現状のまま継続
	・引き続き指定管理により、ゆとりの森の管理運営を行います。 （指定管理期間：令和7年度から令和11年度までの5年間）					

事務事業名	大規模緑地整備事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境共生部	みどり公園課	みどり推進係	玉田 結城

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		人と環境に優しい都市空間が広がるまち	
	施策分野		環境保全	
	めざす姿		緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる	
根拠法令	名 称	都市緑地法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間 設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)			
市民		6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）
	事業費	0	0	0
	人件費	77	80	80
目 的	総事業費	77	80	80
大規模緑地を整備することで、市民が緑と触れ合える場や生物の生息・生育場所の確保などを図り、緑地の保全や市街地の緑化推進につなげます。 手段、手法【実施手法：直営・委託】 ・大規模緑地の山林所有者と賃貸借契約を締結します。 ・大規模緑地を必要に応じて取得します。	8年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		0
		合 計		0

3. 活動内容								
	活動指標 1	名称	大規模緑地として確保した面積				単位	ha
		内容説明		みどり基金による購入土地面積＋保全契約面積				
		指標値			6年度	7年度（当該年度）	8年度	
			予 定	26.5	26.7	26.6		
			実 績	26.5	26.6	－ － －		
成 果（効果・予測）								
・ 市民が緑と触れ合える場を確保できます。 ・ 生物の生息・生育場所を確保できます。								
	活動指標 2	名称					単位	
		内容説明						
		指標値			6年度	7年度（当該年度）	8年度	
			予 定					
			実 績			－ － －		
	活動指標 3	名称					単位	
		内容説明						
		指標値			6年度	7年度（当該年度）	8年度	
			予 定					
			実 績			－ － －		
課 題								
・ 用地の買収については、財源となるみどり基金の残高が年々減少傾向にあるため、その土地の必要性や重要性を精査した上で、慎重に行う必要があります。								
	活動指標 4	名称					単位	
		内容説明						
		指標値			6年度	7年度（当該年度）	8年度	
			予 定					
			実 績			－ － －		

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	II：見直しのうえで継続	7年度	I：現状のまま継続
	・令和8年度については用地の買収予定はありませんが、土地所有者から売却の意向があった場合は土地の必要性や重要性を精査した上で、令和9年度以降の買収について慎重に検討します。					

事務事業名	記念樹植樹事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境共生部	みどり公園課	みどり推進係	玉田 結城

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		人と環境に優しい都市空間が広がるまち		
	施策分野		環境保全		
	めざす姿		緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる		
根拠法令	名 称				
当該事業の法令等による義務付けの有無		無			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	平成22年度		令和07年度		

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費			(単位：千円)
市民		6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）
	事業費	0	0	0
	人件費	77	80	0
目 的	総事業費	77	80	0
記念樹を植樹することで、憩いの場の提供や市民の緑に対する意識の高揚を図り、市街地の緑化推進につなげます。	8年度事業費（予算額）財源内訳			
	国支出金			0
	県支出金			0
	市債			0
	その他			0
	一般財源			0
	合 計			0
	手段、手法【実施手法：直営】			
・「人生の記念植樹」と銘打って市民から寄附を募り、公有地等に寄附者名入りの樹名板を付けた木を植えます。				

活動指標1	名称	植樹された樹木の総数			単位	本
	内容説明	これまでに植樹された樹木の総数				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	180	180	0	
		実 績	180	180	— — —	
	活動指標2	名称				単位
		内容説明				
			6年度	7年度（当該年度）	8年度	
	指標値	予 定				
		実 績			— — —	
	活動指標3	名称				単位
		内容説明				
			6年度	7年度（当該年度）	8年度	
	指標値	予 定				
		実 績			— — —	
	活動指標4	名称				単位
		内容説明				
			6年度	7年度（当該年度）	8年度	
	指標値	予 定				
		実 績			— — —	

課 題	・植樹場所の確保や植樹後の管理等の課題があるため、平成29年度以降は新規の募集を行っていません。
------	--

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	6年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	7年度	Ⅲ：廃止または終了
	・新たな植樹場所を確保できる見込みがなく、植樹後の管理に要する事務量や費用の負担が大きいことから、事業を終了します。					